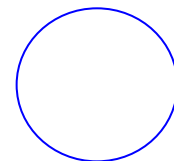
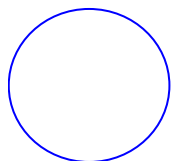
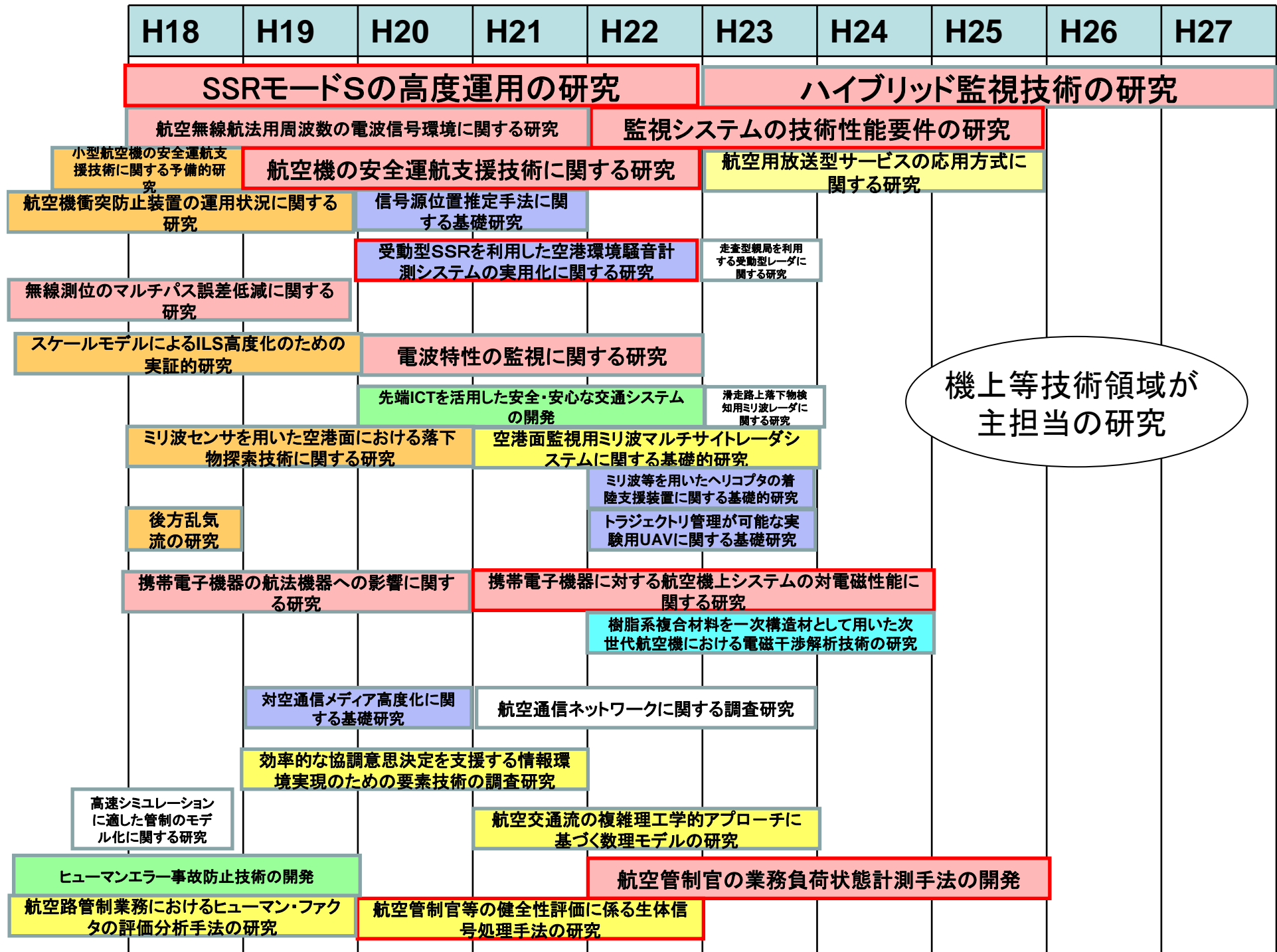


# 機上等技術領域の研究

電子航法研究所 機上等技術領域  
田嶋 裕久





機上等技術領域が  
 主担当の研究

# 15. 代表的な航空機を用いた 携帯電話電波の影響評価

- ◆ 地上停止中の航空機内での  
携帯電話使用の要望
- ◆ 航空局航空安全推進課では  
告示の改正検討
- ◆ 電磁干渉の可能性を実験的に検証

## 16. 監視システムの性能要件 に関する一考察

- ◆ 監視システムに必要な技術性能要件を運用要件から求める
- ◆ 航空機の位置関係を監視する応用を事例
- ◆ 機上監視装置と地上監視装置について精度や遅延などの性能バランスを考察

## 17. 拡張スキッタによる 交通情報配信の開発と評価

- ◆ 試作したTIS-B(Traffic Information Service-Broadcast)実験装置で航空機位置情報を送信
- ◆ 精度や遅延などのシステム性能の検証結果
- ◆ 現在のシステムで実施可能な応用例について考察

# 18. SSRモードSのネットワーク の開発

- ◆ ネットワーク機能は重複する  
地上局識別番号(IIコード)の調整が目的
- ◆ ADS-Bなどによる電波環境を改善する技術
- ◆ 開発したSSRモードSネットワークの概要
- ◆ 評価実験の結果

# 19. 受動型SSR試作開発の成果と 今後の課題

- ◆ 他のSSRの電波を利用する受動型SSRを所外と共同開発
- ◆ 実現した性能
- ◆ 更なる機能向上に向けての開発等

## 20. 発話音声による 心身状態評価技術の現状と展望

- ◆ 発話音声分析技術を当研究所で開発
- ◆ 発話音声から算出される診断値から発話者の覚醒度等を評価
- ◆ 診断値には様々な誤差が含まれる
- ◆ 現状の技術において実現可能な信頼性やその限界



## 21. 発話音声を用いた人間の 特性評価の可能性

- ◆心身状態に相関する指数値 CEM (Cerebral Exponent Macro) は、人間の覚醒水準を評価できる可能性
- ◆それ以外の変動要因は不明
- ◆発話者のCEMと発話者の性や年齢および服薬状況等との関係进行分析
- ◆いくつかの人間特性を評価できる可能性

# この後のプログラム

- |     |                        |        |
|-----|------------------------|--------|
| 15. | 代表的な航空機を用いた携帯電話電波の影響評価 | 米本 成人  |
| 16. | 監視システムの性能要件に関する一考察     | 小瀬木 滋  |
| 17. | 拡張スキッタによる交通情報配信の開発と評価  | 大津山 卓哉 |
| 18. | SSRモードSのネットワークの開発      | 古賀 禎   |

15:40～16:00 休憩《質問コーナー(講演番号15～18)》

- |     |                       |       |
|-----|-----------------------|-------|
| 19. | 受動型SSR試作開発の成果と今後の課題   | 塩見 格  |
| 20. | 発話音声による心身状態評価技術の現状と展望 | 塩見 格一 |
| 21. | 発話音声を用いた人間の特性評価の可能性   | 佐藤 清  |

閉会挨拶 理事 中坪 克行

17:15～17:30 休憩《質問コーナー(講演番号19～21)》